

専門医受験対策などに役立つ、消化器外科医のための知識の実践問題集！

消化器外科専門医必携問題集

知識の

SELF ASSESSMENT

Web問題集付き



編集 白石 憲男 大分大学医学部総合外科・地域連携学講座 教授
河野 洋平 大分大学医学部高度救命救急センター
二宮 繁生 大分大学医学部消化器・小児外科学講座

消化器外科専門医受験をはじめ、専門医更新時やチームでの勉強会など、さまざまな場面で知識の自己学習に役立つ問題集。新カリキュラム基準に適合して、約160項目のテーマそれぞれにオリジナル問題（総数859問）を掲載。解いた結果を記録したり学んだ知識をメモ欄に記入していくことで、自分用にカスタマイズして効率よく学習を進められる。また、好評の既刊書『消化器外科専門医へのminimal requirements 改訂第2版』とリンクしているので、さらに詳しい解説を参照することもできる。タブレット端末等で書籍と同様に問題を解くことができるWeb問題集付き。

定価 6,050円(税込) B5判・372頁・2色 ISBN978-4-7583-1542-5

1. 消化器外科的診断法・検査法

1-1 消化器癌における画像診断の行い方

専門医試験や専門医更新時には、こんなことが問われる！

1. 超音波検査の特徴と使い方
2. 造影 MDCT の撮影と注意点
3. FDG-PET/CT 検査の原理と腫瘍組織の特徴 (^{18}F -FDG の代謝と生理的集積臓器)
4. MRI 検査における造影剤の種類と使い方

関連問題 第22回 19

知識のセルフアセスメント

正 / 誤

問1 消化器癌の画像診断に用いられる検査法について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a. 超音波検査は周波数が高いものほど、分解能は低く、診断できる深度は浅い。
- b. ヨード造影剤を用いた造影 MDCT 検査は、甲状腺疾患患者には禁忌である。
- c. ヨード造影剤を用いた造影 MDCT 検査において、ピグアナイド系糖尿病薬内服患者に乳酸アシドーシスを生じることがある。
- d. MRI 検査は MDCT 検査に比べ、濃度分解能に優れている。
- e. MRI 検査の造影剤である Gd-EOB-DPTA は臓器特異性がなく、血行動態の評価に用いる。

正 / 誤

問2 FDG-PET/CT 検査で用いる ^{18}F -FDG について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- a. ^{18}F -FDG の半減期は10分である。
- b. ^{18}F -FDG はリン酸化されると細胞内に取り込まれる。
- c. ^{18}F -FDG は尿路系を介して排泄される。
- d. 悪性腫瘍ではグルコーストランスポートは亢進しており、 ^{18}F -FDG も取り込まれやすい。
- e. ^{18}F -FDG は、糖代謝の盛んな組織に生理的に蓄積しやすい。

正 / 誤

問3 FDG-PET/CT 検査において ^{18}F -FDG が蓄積しない組織はどれか。1つ選べ。

- a. 褐色脂肪組織
- b. 脳
- c. 骨
- d. 黄色脂肪組織

2. 消化器外科基本手技・処置

2-1 消化管吻合法の基本

消化器外科専門医必携問題集
知識のSELF ASSESSMENT

(1) 消化器癌における画像診断の行い方

0 / 5

問1 消化器癌の画像診断に用いられる検査法について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- a. 超音波検査は周波数が高いものほど、分解能は低く、診断できる深度は浅い。
- b. ヨード造影剤を用いた造影 MDCT 検査は、甲状腺疾患患者には禁忌である。
- c. ヨード造影剤を用いた造影 MDCT 検査において、ピグアナイド系糖尿病薬内服患者に乳酸アシドーシスを生じることがある。
- d. MRI 検査は MDCT 検査に比べ、濃度分解能に優れている。
- e. MRI 検査の造影剤である Gd-EOB-DPTA は臓器特異性がなく、血行動態の評価に用いる。